

■採択年度（タイプ・申請区分）※該当の口を■にしてください。／大学名

【ASEAN 対象】 H23 (A-Ⅱ) H24 (Ⅰ) H24 (Ⅱ) 【AIMS】 H25／神戸大学

■プログラム名

ASEAN 諸国との連携・協働による次世代医学・保健学グローバルリーダーの育成プログラム

---以下、マレーシア・インドネシア・フィリピンに特化した内容を主に記載ください。---

■相手大学・機関（国名も記載ください）

ガジヤマダ大学（インドネシア）、インドネシア大学（インドネシア）、アイルランガ大学（インドネシア）

■主な活動内容（概要）

神戸大学及び大阪大学の世界標準の教育を基盤に、ASEAN 諸国との連携・協働により、ASEAN 諸国の課題への的確な問題解決能力及び英語による実践的コミュニケーション能力を有する、医学・保健学グローバルリーダーとして活躍できる医師、教育研究者、高度医療専門職者、医療産業人を養成する。このため、神戸大学、大阪大学、インドネシア大学、ガジヤマダ大学、アイルランガ大学、マヒドン大学、チェンマイ大学を中心にコンソーシアムを構成し、ASEAN 諸国との連携・協働により、短期間の派遣プログラム、単位を認定する交換留学及び博士課程の学位取得プログラムという多層的な派遣・受入交流プログラム等を企画・展開する。

■プログラムの現状・課題、成功事例

（単位互換、危機管理、寮・奨学金、その他プログラムをつくる上での障害等について、できるだけ具体的に記載ください）

現状・課題

単位互換：1ヶ月～3ヶ月の派遣で取得できる海外大学の単位が少ない。

寮：神戸大学の寮への本プログラムによる留学生の受入ができなため、民間施設を使わざるを得ないが、高額であることや敷金礼金などの問題があり、快適な住環境とは言えないシェアハウスなどを使用している。一方、日本人学生は海外大学の寮に入れることが多いが、寮から実習病院への通学手段やエアコン・騒音などの問題がある。

成功事例

派遣学生の決定をできる限りはやく行うことで、派遣予定大学から留学生を受け入れた時に、派遣予定学生と受入学生の面談・メールアドレスの交換などを行わせるようにしている。これにより、派遣時の当該大学学生によるサポートが得られ、充実した留学生活を送ることができている。